



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

論文やレポートに合った表現を使えるようになるための教材

『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』

著者：鎌田美千子、仁科浩美

出版社：スリーエネットワーク (http://www.3anet.co.jp/)

発行年月：2014年3月 ISBN：978-4-88319-681-4

判型・頁数：B5判 74頁、別冊解答 15頁 定価：1,512円(税込み)



▽パラフレーズとは

本書では「パラフレーズ」を「目的や伝達手段などに応じて他の表現に言い換える(書き換える)」という意味で使っています。そして、レポート・論文・発表用スライド・レジュメなどのアカデミック・ライティングで、それぞれに必要なパラフレーズの力を養うことを目的に、さまざまな練習問題を取りあげています。

▽本書の内容と構成

アカデミック・ライティングには次のような特徴があります。

- ・話し言葉の表現を使わない
- ・箇条書きや簡潔な文が必要
- ・文献などの引用表現にルールがある

本書では、こうした特徴に合わせて適切にパラフレーズができるようになることで、アカデミック・ライティング能力の向上を目指しています。

第Ⅰ部では単語の言い換えを扱っています。例えば、和語を対応する漢語に言い換えたり、動詞を名詞化したりするパラフレーズ練習を行います。第Ⅱ部では長さのある表現を簡潔にまとめる練習を行います。どちらも次の順序で練習を行っていきます。まず単文の中の下線部を直す練習、次に例文の中の不適切な箇所を見つけて直す練習、最後に文章や図表について、指示に合わせてパラフレーズする練習をします。最後の第Ⅲ部では、具体的な場面を想定した次の①～③の課題に取り組みます。

- ① レポートに文献を引用する。
- ② 研究テーマについて発表するためのスライドを作る。
- ③ インタビューの内容(質問と回答)をレポートに書く。

▽本書の使い方

これからレポートや論文を執筆しようとする学習者を対象にした授業で使ったり、学習者自身が自習用に使ったりして、目的・場面に応じた、単語、表現、述べ方などのパラフレーズ練習ができます。

また、本書で取り上げられているのは実際のアカデミック・ライティングの場面で直面しやすい問題の例なので、既に自分で論文を書いたり、発表用のスライドやレジュメを作ったりしている学習者が、自分の文章の改善すべき点を整理するために使うこともできるでしょう。

なお、本書では、長い文や具体的な例を扱った文を要約したり、簡潔に表現したりする練習が中心になっていますが、学習者によっては逆に、単語や短い表現で済ませた説明を、具体的にかみくみ書いて書く練習が必要なことがあるかもしれません。このように、アカデミック・ライティングに関する課題は、学習者によっても、また専門分野によっても違います。学習者自身が克服すべき課題を把握し、より高いアカデミック・ライティングの力を身につけていくために、本書は良いヒントをくれるはずです。

ステップ 1

第3課 簡潔な表現

【問題】 例のように下線部を一言で言い換えなさい。

例 卒業の日に誰と遊んでしまったか大学生の問題を解説する。
⇒ 遊ばす () 大学生の問題を解説する。

1. 1ヶ月の長寿、光熱費、健康のすべてを合わせた額を算出する。
⇒ () を算出する。

2. 1ヶ月に異なる種類の車を都立駅に比較する。
⇒ () を都立駅と比較する。

3. 自動車二輪の販売台数は、20年前と比べて通常に大きく減少している。
⇒ 自動車二輪の販売台数は、20年前と比較して () 。

4. この仏像は、約1300年前に制作されたものと推定されるが、作者ははっきりわかっていない。
⇒ この仏像は、約1300年前に制作されたものと推定されるが、作者は () 。

5. 5月からは、自分の子どもと一緒に遊んでる高齢者の割合を都立駅に示したものである。
⇒ 割合は、自分の子どもと () 高齢者の割合を都立駅に示したものである。

ステップ 2

【問題】 レポートの文として整理したほうがよい箇所を下の欄に下線を引き、例のように一言で言い換えなさい。

例 卒業の日に誰と遊んでしまったか大学生の問題を解説する。
⇒ 遊ばす

1. 全通に異なる人材の確保は、怠りてはならないことである。

2. 自由に使える。余った暇な時間の過ごし方に関する調査は、「国内観光旅行」「ドライブ」「外出」などが主なポイント。

3. 電気自動車は早く使われることに向けた事業を推進する。

4. 航空機事故の70%以上は、機長の誤断ではなく、人が誤って起こしたミスによるものである。

5. この大学では、学生の自主性を重視するものとしてとらえている。

ステップ 3

【問題】 以下は、ゼミの発表であなたが話した内容の一部である。下線部をレポートに合う表現として整理し言い換えなさい。

<発表の一部>
自動車の安全運転を促すために、道の車道の距離を十分にとって、急に加速したり減速したりしないスピードを定めて運転すること。このことについては、先ほど話した通りです。

一方、自動車単独に目を向けると、先進技術を使って安全運転を支援するシステムの開発が行われています。このシステムが導入されている自動車は「先進安全自動車」と呼ばれています。次に、この「先進安全自動車」に搭載されているさまざまな技術について説明します。(以下、略)

<レポート>
自動車の安全運転を促すために、
については、前述した通りである。

一方、自動車単独に目を向けると、先進技術によって安全運転を支援するシステムの開発が行われている。このシステムが導入されている自動車は「先進安全自動車」と呼ばれている。次に、この「先進安全自動車」に搭載されているさまざまな技術について説明する。(以下、略)

このコーナーの担当者：長坂 水晶 / 日本語国際センター専任講師